＊竹田市感染症情報（竹田市独自集計）＊

令和7年第12週（3月17日～3月23日）

インフルエンザの患者数について

竹田地域における今週の８医療機関(1医療機関休診中)の総数は11名と先週に比べ増加しました。インフルエンザＢ型の割合が91%と高くなってきています。大分県全体も１定点あたりの患者数も1.29と先週の0.90と比べ高くなってます。

一度インフルエンザＡ型にかかった人でも、再度インフルエンザＢ型に感染してしまうこともあります。新型コロナ感染症と同じように飛沫と接触で感染する病気です。感染予防のため、人ごみでのマスク着用と手指消毒、こまめに手洗いやうがいを行う事などを心がけましょう。

竹田地区で流行性耳下腺炎の報告がありました

流行性耳下腺炎は、「**おたふくかぜ**」ともいわれる感染症です。おたふくのように、顔がはれることから、そう呼ばれています。原因は、ムンプスウイルスで、せきやくしゃみによって、ウイルスを含んだしぶきが飛び散り、それを吸い込むことで感染したり、ウイルスが付着した手で、自分の口や鼻をさわったり、舐めたりすることにより感染します。小児の感染が中心ですが、大人でもかかります。

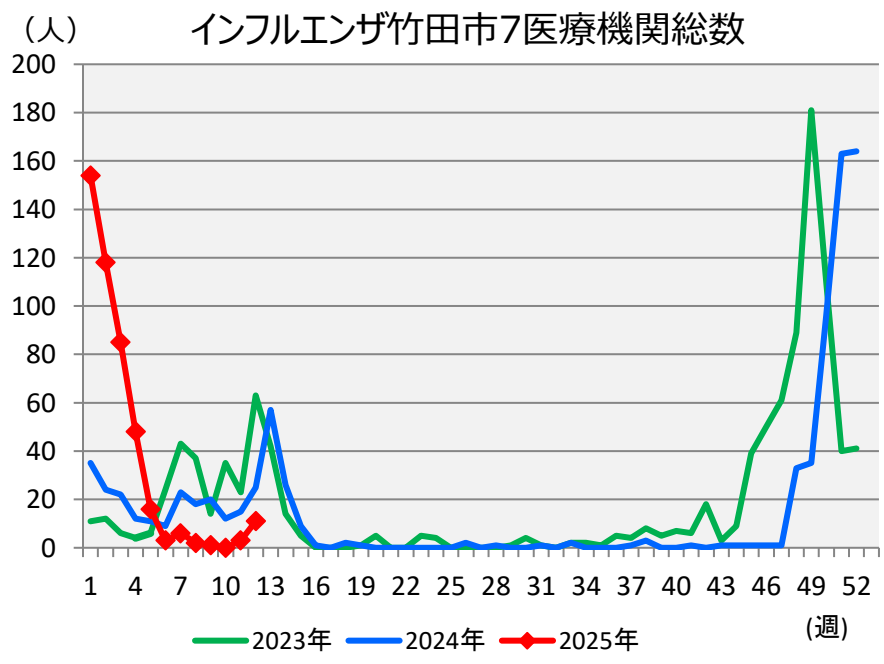
主な症状は、発熱と、唾液腺の腫れや痛みです。唾液線とはつばをつくる組織のことで、耳のななめ前下にある耳下腺（じかせん）、えらの近くにある顎下腺（がっかせん）、舌の下にある舌下腺（ぜっかせん）などがあります。症状は、1～2週間で軽くなり、感染しても約3割の人は症状が出ませんが、年齢が低いほど症状が少ないことが多く、成人は症状が重くなる傾向があります。まれに無菌性髄膜炎、難聴、脳炎・脳症、精巣炎、卵巣炎などの重い合併症が起こることがあります。特に妊婦は自然流産する可能性もあり、注意が必要です。

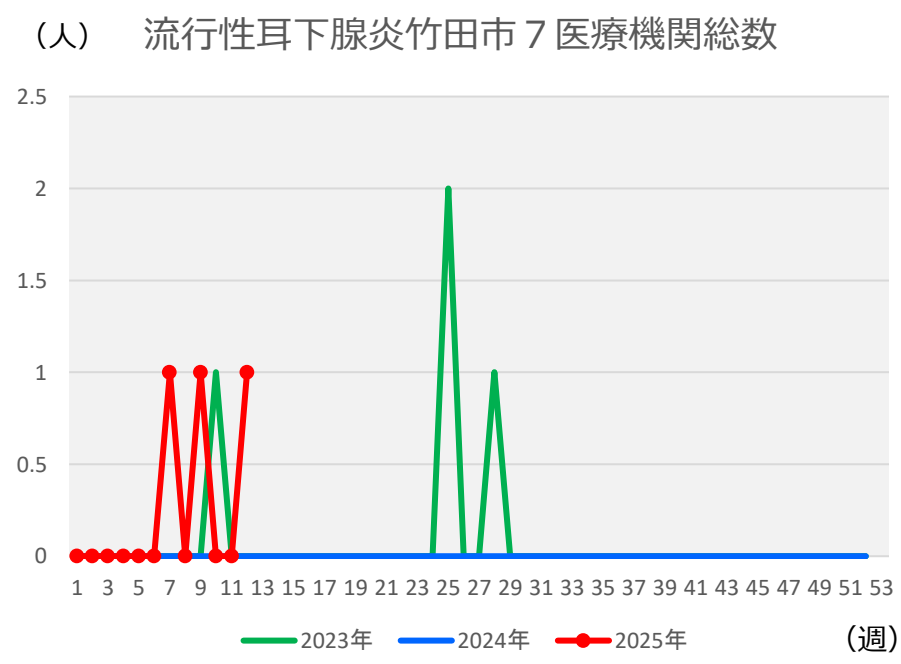
特別な治療法はありません。解熱剤の服用や患部の冷却などの対症療法を行って安静に過ごします。

予防には、ワクチンが有効です。感染症にかかることにより、周りの人にその病気を拡げてしまうこともあります。ワクチンで予防できる感染症は、ワクチン接種で予防するのが最善の方法です。

（第１２週）　　（調査医療機関8か所の総患者数：ただし1医療機関は休診中）

疾患名 / 年齢	インフルエンザ A型	インフルエンザ B型	インフルエンザ 不明	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
0歳																			
1～3歳														1					
4～6歳							1												
7～9歳																			
10～14歳		2					1												
15～19歳		8																	
20歳以上	1			12				8											
今週	1	10		12			2	8						1					
	11																		
70歳以上（再掲）				6															
先週	1	2		40			2	6											





大分県豊肥保健所　作成